平和憲法･9条をまもる 岩手の会 ニュース No.103

2014.5.3
発行：平和憲法・９条をまもる
岩手の会 事務局会議

連絡先 県生協連・県消団連
TEL019－684－2225
FAX019－684－2227

桜咲く 県内各地で街頭宣伝署名行動

○岩手の会

９条をまもる岩手の会では、冬期間お休みしていた街頭宣伝署名行動を４月９日から再開しました。盛岡市・大通で盛岡近辺の９条の会や団体・組織から 18 人が参加し、30 分間で 30 筆を集めました。人通りも増え、「若者が話を聞き署名してくれる」との感想も出されました。その一方で、「職場の昼食時間に抜けてくる方は足早にチラシも受け取らず去っていく」「反応があまりよくない」という声もありました。

今後も９の日を基本に開催します。ぜひみなさんご参加ください。

○平和憲法・９条を守る河南の会

河南の会では、４月 15 日に地域のユニバース近くの私道で署名行動を行いました。40 分間で 45 筆の署名が集まりました。「安倍政権はやりたい放題だ」という批判の声も聞かれ、署名への反応はよかったです。

○水沢・憲法九条を守る会

水沢では、毎月９の日にコープアテルイで行動しています。いつもは夜（夕方）宣伝を行っていますが、今月は昼・夜と２回行い 60 筆の署名が集まりました。「とにかく心配だ」という声がありましたが、中国・北朝鮮・韓国など東アジアの脅威論を方って歩く人、集団的自衛権も止むを得ないと言う人もいて、宣伝の必要性を感じました。

○矢巾九条の会、平和憲法・９条を守る都南の会

都南・矢巾九条の会は合同で４月９日に宣伝行動を行いました。午前７時 30 分から、矢巾駅頭（東側）で行い、18 人が参加しました。のぼり、プラカードで朝の通勤、通学者に「平和憲法９条をまもり、生かそう」「解釈で憲法９条を壊すな」「とめよう、戦争する国づくり」「集団的自衛権ＮＯ！」と訴えました。手を振る人、挨拶を交わしながら電車に急ぐ通勤者、真新しい制服を着た新入生など、春のさわやかな１時間の行動でした。来月は飯岡駅前で行う予定です。

戦争の悲惨さを語り伝えていくことをあらためて実感
～いわて生協で「沖縄戦跡・基地めぐり」に参加～

日本生協連では、「沖縄戦跡・基地めぐり」を毎年開催しており、2013 年度で 31 回目になりました。いわて生協では今年初めて２名の組合員理事が参加し、3 月 25 日～27 日の日程で辺野古や糸数壕(アブチラガマ)、平和祈念資料館、ひめゆりの塔などを見学してきました。

また、１日目には沖縄戦の体験談を聞く講演があり、その講演では、３か月に及ぶ地上戦で軍人より一般市民の犠牲者が多かったことや、防空壕の中で子どもを殺せといわれた母親が、乳を飲むわが子の口と鼻を泣きながら乳房でふさいで窒息させたことなど、悲惨な沖縄戦の実相を聞くことができました。

参加した組合員理事からは、「今回沖縄を訪れ、はじめて戦跡めぐりをして、戦争の悲惨さ、人々の苦しみ、平和への課題を嫌というほど知ることができた。今まで、戦争のことや沖縄戦のことをあまりよく知らなかった自分を恥ずかしいと感じ、沖縄の方々に申し訳ない気持ちになった」「何不自由なく平和にくらしている私たち。ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下をはじめ、残忍な出来事の上に今の日本の平和があること、そして戦争を絶対に許してはいけないことを、多くの方に語り伝え、忘れないでいくことが私たちのやるべきことだと強く感じた３日間だった」との感想が出され、今後の活動につながる体験になりました。

コラム＝ 国民を「見ざる（猿）、聞かざる、言わざる」にして闊歩するのは誰か？ －秘密保護法（その１）

秘密保護法が成立後、その危険性から廃止を求める運動の発展が続いています。それはもっともなことだと思います。

４月２３日夜、オバマ米国大統領が来日しました。まずは安倍首相の招きですし屋で夕食会。それに臨む同首相は非公式な「食事会」のときから「日米同盟（軍事同盟）の強化の論議」に期待をあからさまに表明。報道も同首相は「同盟の強化を狙う」と言わざるを得ない状況です。これが「積極的平和主義」なのかと改めて思いました。

いったい日本国憲法はどこへ行ったのかと思わざるを得ません。同憲法のどこにこういうことを論議しなければならないと定めているのでしょうか。安倍首相は日本国憲法に基づく「総理大臣」であるはずです。同憲法は相手の国がどこであろうとも、「戦争、軍事」の論議はやめて、「平和」で国際社会に生き、そのことで「名誉ある地位」を確立することを誓ったはずです。しかし同首相はこれを押しのけているのではないでしょうか。そしてこれは許されることでしょうか。

昨年末、安倍首相の「靖国神社参拝」を廻り、中国や韓国はもちろん国連や米国など国際社会から大きな懸念の声が巻き起こったのは、第２次世界大戦後の国際社会でまた日本に「戦争、軍事」の論議が起こるのかということのためであったのです。

日米首脳会談の結果については、次回に続きます。 (T)

今月の署名行動 5月の街頭署名活動は、9日（金）12:30～13:00盛岡市大通野村證券前で行います。暖かくなってきました。是非ご参加ください。